

質問及び回答

※ この MS-WORD 文書のまま送付をお願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください。)

2020 年 8 月 11 日

ネパール国ポカラ市下水マスタープラン策定プロジェクト詳細計画策定調査(下水道計画、環境社会配慮/ジェンダー主流化)(一般競争入札(総合評価落札方式))(公示日:2020年7月29日/調達管理番号:20a00188)

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p.15 4.報告書等(成果品) 作成・提出する報告書等は以下のとおり。	※電子データをもって提出すること。とありますが、これは(1)~(3)を指しており、従って印刷物を提出する必要はないとの理解でよろしいでしょうか。	「※電子データをもって提出すること。」は、(1)~(3)を示しております。したがって、印刷物を提出する必要はありません。
2	p.18 1.技術提案書の構成 1 コンサルタント等の法人としての経験、能力 (1)類似経験の業務 p.20 3.技術提案書作成上の留意点 (1) コンサルタント等の法人としての経験、能力	p.18 では、(1)類似経験の業務の目安は 6 頁以下(類似業務実績は 5 件と読めます)、p.20 では類似業務実績は 3 件までとしてくださいとあります。どちらの件数が正しいでしょうか。	失礼いたしました。 p.20 の 3 (1) を以下の通り修正いたします。 「様式 4-2 (その 2) に基づく類似業務実績は 5 件までとしてください。」
3	入札説明書 18 頁(1. 技術提案書の構成)、19 頁(2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項)、23 頁	サブ・サハラ地域等における村落給水におけるジェンダーの問題は給水事業の案件形成に深く関係すると理解できるが、下水セクターにおいては、既存資料や事前に入手した資料等においても、ジェンダーの問題は余り関係してないとする。また、同	業務内容は p.14 の 3 (1) ④オ) に記載のとおりであり、詳細計画策定調査においてジェンダー視点に立った課題の分析や取り組みの必要性を検討するものです。 本案件はジェンダー主流化に係る事項についても、環境社会配慮と同様に調査対象として取

通番号	当該頁項目	質問	回答
		日に公示された、「フィジー国西部地域下水道マスタープラン策定プロジェクト詳細計画策定調査(下水道計画、環境社会配慮)」については、環境社会配慮とジェンダー主流化が一体となっていない。本件の案件で、何故、環境社会配慮とジェンダー主流化が一体となっているのか。	り扱うものです。 参考資料：「JICA 事業におけるジェンダー主流化のための手引き【環境管理(下水道及び廃棄物)】(JICA、2016年9月) https://www.jica.go.jp/activities/issues/gender/materials/guidance.html
4	p.31 第4章 経費積算に係る留意事項 2.入札金額内訳 (1) 費目構成 ②一般現地業務費 現地通訳費、車両関連費等の現地で支出する直接経費	現地関連費内②に関しまして、定額計上等のご指示はございませんが、邦人の現地渡航を想定しない本件においては、調査の精度を確保する上で現地特殊傭人は必要になると想定されますが、特殊傭人の計上は想定されておられませんでしょうか。また、現時点の状況ではどの程度現地特殊傭人を動かすか判断することが難しいため、定額でご教示頂くことは可能でしょうか。	現時点では現地関連費を想定しておりません。ただし、国内調査であっても遠隔コミュニケーションによる現地傭人活用の必要性があると判断される場合にはご自由にご提案ください。定額計上としませんが予算は考慮しますので必要に応じ入札価格に反映させていただきます。
5	p.25(3)	現地関連費に関しまして、定額計上等のご指示はございませんが、計上(車両や傭人等)を想定していますでしょうか？	上記4のとおりです。

以上